

Handwritten signature/initials

#3  
mdj  
3-6-12

PATENT

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re the application of:



YAMAGA

Serial No.: 09/915,551

Group Art Unit: 2681

Filed: July 27, 2001

For: INFORMATION RETRIEVAL SYSTEM

CLAIM TO PRIORITY

Assistant Commissioner of Patents  
Washington, D.C. 20231

RECEIVED

MAR 01 2002

Technology Center 2600

Sir:

The benefit of the filing date of the prior foreign application filed in the following foreign country is hereby requested and the right of priority provided in 35 U.S.C. §119 is hereby claimed:

Japan Application No. 2000-226773 filed July 27, 2000; and

Japan Application No. 2001-179815 filed June 14, 2001.

In support of this claim, filed herewith is a certified copy of each said foreign application.

Respectfully submitted,

JACOBSON HOLMAN PLLC

By: \_\_\_\_\_

John C. Holman  
Reg. No. 22,769

400 Seventh Street, N.W.  
Washington, D.C. 20004-2201  
Telephone: (202) 638-6666

Atty. Docket No.: P66930US0  
Date: February 27, 2002  
JCH:crj

#3



日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日  
Date of Application:

2000年 7月27日

出 願 番 号  
Application Number:

特願2000-226773

出 願 人  
Applicant(s):

日本ビクター株式会社

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

RECEIVED

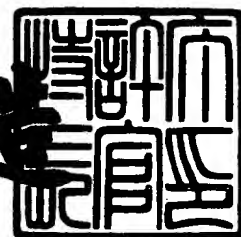
MAR 01 2002

Technology Center 2600

2001年 8月 3日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



【書類名】 特許願

【整理番号】 412000767

【提出日】 平成12年 7月27日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06T 1/00

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 日本ビクター株式会社内

【氏名】 山賀 洋子

【特許出願人】

【識別番号】 000004329

【氏名又は名称】 日本ビクター株式会社

【代表者】 守隨 武雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 003654

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書  
【発明の名称】 情報収集システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

限られた空間内で視聴覚情報を送出するサーバと、  
前記限られた空間内のサーバの通信域内で前記サーバと通信が可能な携帯端末とを有する情報収集システムであって、  
前記通信域内に前記携帯端末があるときに、前記サーバは、前記携帯端末の要求に応じて、前記視聴覚情報に関連する関連情報を前記携帯端末に送信することを特徴とする情報収集システム。

【請求項 2】

前記携帯端末と前記サーバとの通信を行う第 1 の通信手段と、  
前記携帯端末が受信した関連情報によって前記視聴覚情報に関する更に詳細な情報にアクセスするための前記第 1 の通信手段とは異なる第 2 の通信手段と、  
を有する請求項 1 に記載の情報収集システム。

【請求項 3】

前記関連情報は Web ページにアクセスするための URL であることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の情報収集システム。

【請求項 4】

前記サーバと前記携帯端末との通信を Bluetooth によって行うことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 いずれかに記載の情報収集システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、限られた空間内の通信域内で音楽や映像などの視聴覚情報を流すときに、視聴覚情報に関連する関連情報を空間内に居るユーザーが簡単に入手することのできる情報収集システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

レコード店などでは、販売促進のために店内のスピーカーやモニターから視聴覚情報を流している。また、このような限られた空間内では、上述した販売促進のためだけではなく、空間に居る人（以下ユーザーという）を退屈させないために、スピーカーやモニターを設置して音楽や映像を流すことがある。

#### 【0003】

このように流されている視聴覚情報をユーザーが見聞きしたときに、ユーザーは前述した視聴覚情報に興味を持ち、関連する情報（音楽であれば曲名やアーティスト、映像であればタイトルや出演者などの情報が考えられる）を入手したいと思う場合がある。上述した関連情報を入手する手段としては、まれに視聴覚情報を流しているスピーカーやモニターの近傍に関連情報が開示されているものを見聞きしたり、近くに居る店員などに聞いたりすることが考えられるが、このようにして関連情報を入手できる確率はきわめて低く、関連情報を確実に入手することは困難であった。

#### 【0004】

次に、従来の情報収集システムを説明する。ユーザーがある視聴覚情報を見聞きして、その視聴覚情報に関連する関連情報を所望する場合、次のような方法が考えられる。視聴覚情報を流している限られた空間内、特に視聴覚情報を流しているスピーカーの近傍に紙面等の掲示やモニターの表示によって関連情報を提示したり、視聴覚情報を流しているモニターの近傍に紙面等による関連情報の掲示を行ったり、モニター内に関連情報を表示したりすることでユーザーが関連情報を入手することができる。また、視聴覚情報を提供している情報送出元がわかる場合は情報送出元に問い合わせることで関連情報を入手できるようにしても良い。更に、視聴覚情報のタイトル、製作者名などの一部のキーワードがわかる場合は、キーワード検索可能な端末を利用して、関連情報を検索しても良い。

#### 【0005】

しかしながら、上述した従来例のように、視聴覚情報を流しているスピーカーの近傍に紙面等の掲示やモニターの表示によって関連情報を提示したり、視聴覚情報を流しているモニターの近傍に紙面等による関連情報の掲示を行ったり、モニター内に関連情報を表示したりする場合は、関連情報を更新するときに、視聴

覚情報を提供している空間を管理する側の負担が大きくなるという欠点があった。また、キーワードなどの一部の情報から関連情報を引き出す場合、視聴覚情報に対して何も情報が無いときには、取っ掛かりがなく、関連情報を入手することが困難であった。

#### 【 0 0 0 6 】

特開平 8 - 1 5 4 0 7 4 号公報には、FM放送と公衆電話網を使用した通信システムが開示されているが、近距離内に情報を発信したい店舗が複数存在した場合、各店舗は通信の周波数変更を行うなどの処理が必要となり、情報の受信側（ユーザーの携帯端末など）は必要な情報を得るためにその店舗の周波数を調べたり、通信時に前述した周波数を合わせたりしなければならない。このように店舗が密集する区域における情報提供手段として放送を使用した場合、利便性に欠けるいくつかの問題点が発生する。また、受信した情報及び電話番号の記録手段が備えられていないため、前述した情報はその場限りの情報として終わってしまう可能性があった。

#### 【 0 0 0 7 】

一方、端末を持つユーザーが特定の場所に行き、そこにある情報を自分の端末に入手する方法として、特開平 1 1 - 6 5 4 9 4 号公報に記載されている情報提供方法がある。ここでは中吊り広告や看板などの広告情報提供サービスにおいて、広告媒体にはその実態についてのより詳しい情報が提供可能な情報提供装置が付随されており、広告されている実態に対して情報受信者が興味を抱いた場所で前述した情報提供装置から携帯情報端末にワイヤレス通信手段を利用して情報を提供する方法が開示されている。しかし、この方法では、その場で詳細情報の受信を行うため、詳細情報の受信に時間がかかったり、携帯情報端末に容量の大きな記憶装置が必要となったり、無駄な情報まで携帯情報端末に受け取ったりしていた。

#### 【 0 0 0 8 】

##### 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述した従来の方法では、ユーザーがある視聴覚情報を見聞きしたときに、その視聴覚情報に関連する関連情報を得たり、視聴覚情報の関連物

品の購入手段を探すことが困難であった。

【0009】

そこで、本発明は、ユーザーがある視聴覚情報を見聞きしたとき、その場所で前述した視聴覚情報が流れているのに同期して即時にサーバからワイヤレス通信手段により自端末に視聴覚情報の関連情報（URLや視聴覚情報を電子データ化したものの一部を取り込み記憶し、それらの情報をいつでも参照できること、電話回線などの通信手段を利用して前述したURLの示すWebページにアクセスし、詳細情報の収集、物品の購入をすることが可能な情報収集システムを提供することを目的としている。

【0010】

【課題を解決するための手段】

上述した課題を解決するために、限られた空間内の通信域内で視聴覚情報を送出するサーバと、前記サーバと通信が可能な携帯端末とを有する情報収集システムであって、前記通信域内に前記携帯端末があるときに、前記サーバは、前記携帯端末の要求に応じて、前記視聴覚情報に関連する関連情報を前記携帯端末に送信することを特徴とする情報収集システムを提供する。

【0011】

また、前記携帯端末と前記サーバとの通信を行う第1の通信手段と、前記携帯端末が受信した関連情報によって前記視聴覚情報に関する更に詳細な情報にアクセスするための前記第1の通信手段とは異なる第2の通信手段とを有する請求項1に記載の情報収集システムを提供する。

【0012】

更に、前記関連情報はWebページにアクセスするためのURLであることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の情報収集システムを提供する。

【0013】

更にまた、前記サーバと前記携帯端末との通信をBluetoothによって行うことを特徴とする請求項1乃至請求項3いずれかに記載の情報収集システムを提供する。

【0014】

## 【発明の実施の形態】

以下、本発明に係る情報収集システムについて図面を参照して説明する。図1は本発明に係る情報収集システムを示す図である。同図によれば、データ送受信機能を持つ移動可能な携帯端末11、この携帯端末11とデータ送受信機能を持つサーバ12において、サーバ12には携帯端末11との通信を行うために例えばBluetoothなどのワイヤレス通信手段15が備えられている。同様に携帯端末11にはサーバ12と通信を行うためのワイヤレス通信手段15が備えられている。

## 【0015】

サーバ12は店舗などの限られた空間内10に設置されており、サーバ12の内部にはスピーカやモニタなどから視聴覚情報を流す音楽映像送出機能16が備えられている。なお、ここではサーバ12が音楽映像送出機能16を有しているが、サーバ12との通信手段を持ち、音楽映像送出機能16を持つ別構成のハードウェアを用意しても良い。

## 【0016】

音楽映像送出機能16は視聴覚情報18を空間内10に流し、サーバ12では視聴覚情報18が空間内10に流れるのに同期して、視聴覚情報18に関連する関連情報や関連URLなど（まとめて関連情報という）をサーバ12内の情報・データ送信機能19からワイヤレス通信手段15を用いて、限られた空間内10に設置されたサーバ12の通信域17に入った携帯端末11に送信できる状態にする。このように限られた空間内10の通信域17でサーバ12と携帯端末11とがワイヤレス通信手段15を介して行う通信を第1のネットワークと呼ぶ。

## 【0017】

そして、携帯端末11を所持したユーザーが通信域内17で視聴覚情報18を見聞きし、視聴覚情報18に関する情報を入手したいと思った場合、携帯端末11はサーバ12の通信域17に入っていることを確認して、第1のネットワークによりサーバ12との通信を確立する。サーバ12は通信を確立した携帯端末11に対して、現在、空間内10に流れている視聴覚情報18に同期して視聴覚情報の関連情報、関連URLなどを携帯端末11に送信する。このとき、携帯端末



11で得られるのは通信時間の兼ね合いから必要最低限の情報である。また、サーバ12は携帯端末11にデータとして視聴覚情報18の一部、又は圧縮した視聴覚情報18のデータの一部を送信することもできる。そして、携帯端末11は必要な情報を得た後、サーバ12との通信を終了する。なお、通信の途中で携帯端末11が通信域17から外れた場合、通信は終了する。このとき、警告音を鳴らすなどして、ユーザーに通信域17から外れたことを通知しても良い。

## 【0018】

時間軸で見ると、図2に示すように、音楽A、音楽B、…、音楽Nから成る音楽のうち、音楽映像送出機能16から音楽N101が送出されている間、サーバ12は音楽N101に関連する音楽N関連情報を送信102できる状態にあり、このとき、通信域17でサーバ12と通信103を行った携帯端末11は、音楽N関連情報を受信104することができる。

## 【0019】

携帯端末11は取得した関連情報を表示する表示手段を有しており、ユーザーはその場で関連情報を携帯端末によって閲覧することができる。このとき、携帯端末11は、その内部に関連情報を保持する情報記憶手段13を備えており、関連情報や視聴覚情報18のデータを記憶することができるので、限られた空間内10の通信域17を外れていても、ユーザーは関連情報の閲覧が可能である。なお、携帯端末11が音声・映像再生手段14を備えている場合、取得した視聴覚情報18のデータを再生することが可能である。

## 【0020】

また、ユーザーは電話回線やその他の公衆回線など（以下、インターネット網という）を用いたネットワークを利用して携帯端末11から関連情報（主にURLなど）の示すWebページにアクセスして、そこに示された情報を閲覧することで、更に視聴覚情報18の詳細情報を得ることができる。このように、電話回線やその他の公衆回線などを利用して行う広域の通信を第2のネットワークと呼ぶ。

## 【0021】

ユーザーが視聴覚情報18又は視聴覚情報18に関連する物品（データを含む

）を所望する場合、その場でサーバ12又は関連情報によって示されるURLのWebページからインターネット網を介して視聴覚情報を電子データとして携帯端末11にダウンロードすることができる。このとき、ユーザーの所望する物品がパッケージ商品などデータではないためその場で購入できない場合は、Webページ上のオンラインショッピングで物品を注文できる。サーバ12がオンラインショッピング機能を有する場合は、携帯端末11でサーバ12と再び通信を行い、物品を注文する。なお、前述した限られた空間内10が店舗であり、その場にユーザーの所望するパッケージ商品の在庫がある場合は、店舗にその情報を伝達し、その場で商品を受け取ることができる。また、商品を受け取る場所としては、各地に存在するコンビニエンスストアなどを利用しても良い。

#### 【0022】

また、ユーザーが自宅などの別空間20に携帯端末11と共に移動した後も前述した関連情報を必要に応じて即時に携帯端末11で閲覧することができる。携帯端末11は第2のネットワークを使用して関連情報の示すURLのWebページにアクセスして更なる情報を入手することが可能である。このとき、視聴覚情報18のデータのダウンロード（有償あるいは無償）やオンラインショッピングによる物品の購入も同様に可能である。

#### 【0023】

以上のように、ユーザーは視聴覚情報18に関する関連情報や必要に応じて視聴覚情報18自体を携帯端末11に入手することができる。そして、ユーザーは携帯端末11からインターネット網やケーブル通信、ワイヤレス通信など何らかの通信手段を利用して視聴覚情報18や関連情報のうち選択した情報を自宅などに設置された別の端末21へ転送又はコピーすることができる。別の端末21は携帯端末11と同様に音声・映像再生手段23及び情報記憶手段22を備えている。なお、情報の転送やコピーについては著作権上の問題から制限をかけても良い。

#### 【0024】

このように情報を得た別の端末21は第2のネットワークを使用して関連情報の示すURLのWebページにアクセスし、アクセスしたWebページの閲覧や

視聴覚情報 1 8 のデータのダウンロード、オンラインショッピングによる物品の注文が可能である。

【 0 0 2 5 】

次に、本発明に係る情報収集システムの一実施例として、ある店舗（レコード店）において、店内のスピーカーから流れている音楽の関連情報をユーザーが携帯端末 1 1 で取得し、物品の購入を行う実際の流れについて、図 3 及び図 4 を用いて説明する。

【 0 0 2 6 】

レコード店内には限られた空間内 1 0 の通信域内で情報の送受信が可能な、例えば Bluetooth のようなローカル無線によるワイヤレス通信手段（第 1 のネットワーク）を有するサーバ 1 2 が設置されている。また、ユーザーの所持する携帯端末 1 1 はサーバ 1 2 と第 1 のネットワークを介して通信できるようになっている。更に、レコード店は音楽送出装置を有し、店内に音楽を流している。サーバ 1 2 では情報・データ送信機能を有しており、店内の音楽送出装置によって流される音楽に同期して、音楽の関連情報、がサーバ 1 2 から第 1 のネットワークを使用して携帯端末 1 1 に送信可能になっている。

【 0 0 2 7 】

図 3 及び図 4 によれば、レコード店内でスピーカーから音楽 A が流されているときに、携帯端末 1 1 を所持したユーザーがその場を訪れ（S 0 0 1）、レコード店内でスピーカーから流れている音楽 A を聴く（S 0 0 2）。ここで、ユーザーが音楽 A に関連する関連情報を所望する場合（S 0 0 3 で YES）、ユーザーは音楽 A がレコード店内に流されている時間内に携帯端末 1 1 を通信モードに設定し（S 0 2 1）、サーバ 1 2 の通信域内 1 7 に入る（S 0 2 2）。そして、ワイヤレス通信手段によって携帯端末 1 1 とサーバ 1 2 との通信を確立する。ここで、ワイヤレス通信手段として Bluetooth を用いることで、通信に用いる周波数が携帯端末 1 1 とサーバ 1 2 間で自動的に確立されることから、ユーザー自ら周波数を設定する必要がなくなる。

【 0 0 2 8 】

次に、サーバ 1 2 と携帯端末 1 1 との間で通信が確立したら、サーバ 1 2 から

携帯端末11に関連情報を第1のネットワークを使用して送信する(S024)。そして、ユーザーは関連情報を携帯端末11で受信し、保持する(S025)。携帯端末はサーバ12からの受信を終了したら通信モードを終了するので、サーバ12から送信する関連情報は、音楽Aに関する一般的な情報の他に例えば物品やイベント情報などの特典情報やユーザーIDの発行など、サーバ12の通信域に入ったユーザーだけが得られる特別な情報を送信することも可能である。このようにすることで、レコード店の客数が増加するという二次的な効果も考えられる。また、データ化された音楽A(以下音楽Aのデータという)の一部又は圧縮した音楽Aのデータをサーバ12から携帯端末11が受信した場合、携帯端末11が音楽再生機能を有するのであれば、即時に携帯端末11によって音楽Aの再生を行い試聴することができる(S027)。このとき、携帯端末11で得られる情報は最低限の情報であるので、ユーザーが必要としない余分な情報を得ることがない。また、ユーザーが音楽Aに関する更なる詳細情報を得る場合、公衆回線などを利用したインターネット網のような通信手段(第2のネットワーク)を介し、携帯端末から前述した関連情報の示すURLのWebページにアクセスすることで実現できる。

#### 【0029】

次に、ユーザーが音楽Aを購入したいと希望する場合、携帯端末11によって第2のネットワークを介して関連情報の示すURLのWebページにアクセスし(S028)、音楽Aの更なる詳細情報やオンラインショッピングに関する情報を取得する(S029)。オンラインショッピングにより前述した音楽Aの注文を行わない場合(S30のNo)は情報閲覧後に第2のネットワークの通信を終了する(S042)。注文を行う場合(S030のYes)、まず音楽Aのデータをダウンロードするか、パッケージとして購入するかを選択する(S031)。

#### 【0030】

データをダウンロードする場合(S031で①)、前述したWebページ上で音楽Aのデータをダウンロードする注文要求を行う(S032)。注文要求に応じて商品のタイトルやアーティスト名、商品の値段等の購入確認情報がWebページに表示される(S033)。そして、購入する場合はそれを承諾し(S034

）、支払いの手続きを行った（S035）のちに、音楽Aのデータの一部又は全部、或いはそれらのデータを圧縮したものを携帯端末11にダウンロードする（S036）。一方、サーバ12から音楽Aのデータのダウンロードが可能な場合は、サーバ12との通信域内で第1のネットワークを用いて携帯端末11とサーバ12との通信を確立し、関連情報を基に音楽Aのデータのダウンロードによる購入をサーバ12に要求する。そして、Webページからのダウンロードの場合と同様に注文手続きを行い、携帯端末11はサーバ12からデータを受信する。

#### 【0031】

また、ユーザーが音楽Aの記録されたCDなどのパッケージメディアを購入する場合（S031で②）、例えばユーザーが前述したメディアを所望するときには、関連情報により示されるURLのWebページのオンラインショッピングにて注文要求を行う（S037）。前述したメディアの値段や在庫などの情報がWebページ上に表示されたら（S038）、支払い手続きを行い（S040）、支払い完了通知を受け取る（S041）。そして、注文終了後に第2のネットワークの通信を終了する（S042）。

#### 【0032】

ユーザーは携帯端末11を自宅に持ち帰るなど別の場所へ移った後でも（S005）第2のネットワークを使用して前述した関連情報の示すURLのWebページを閲覧し、音楽Aの詳細情報を取得することができる（S006）。そして、そのWebページを基点にリンクされている他のWebページも閲覧でき、音楽Aの関連情報以外の情報も入手することが可能である。また、同様に前述した音楽Aのデータをダウンロードによって購入したり、前述した音楽Aに関連する物品をオンラインショッピングなどで注文したりすることができる（S007）。

#### 【0033】

このように、サーバ12から得た関連情報は、ユーザーが自宅に所有する他の端末にコピー可能である（S008）。これにより、携帯端末11と同様に他の端末でもコピーした関連情報を閲覧したり、コピーした関連情報の示すURLのWebページにアクセスして情報を閲覧したり、音楽Aのデータの購入や関連す

る物品の注文を行うことができる。

【 0 0 3 4 】

【発明の効果】

以上、詳述したように、本発明に係る情報収集システムによれば、ユーザーがレコード店や映画館、飲食店のような店舗やスキー場などの限られた空間内でスピーカーやモニタから送出される音楽や映像などの視聴覚情報を見聞きして、これらの情報に関連する関連情報を所望した場合、そこに設置されたサーバの通信域内に携帯端末が入ることにより視聴覚情報に関連する関連情報を自分の持つ携帯端末に即座に入手することができるという効果がある。そして、ユーザーはその場で、又は、その後で、その関連情報を閲覧することができる。また、すぐにその場で、又は別の場所に移動したときに、インターネット網などを利用して関連情報の示すURLのWebページにアクセスすることで、ユーザーは視聴覚情報に関連する更に詳細な情報を入手することができる。更に、ユーザーは簡単に前述した視聴覚情報の商品を購入することが可能である。

【 0 0 3 5 】

また、視聴覚情報を提供する側では、前述したWebページのアクセスが増加するという効果があると共に、オンラインショッピングなどへの導入もできるため、販売を促進する効果をも奏する。一方、視聴覚情報を流す店舗などでは、前述した関連情報を得るためにはユーザーが来店する必要があるため、客足の増加にも繋がるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明に係る情報収集システムを示す図である。

【図2】

本発明に係る情報収集システムにおける視聴覚情報及び関連情報の関係を示す図である。

【図3】

本発明に係る情報収集システムにおけるユーザーの動作を示す図である。

【図4】

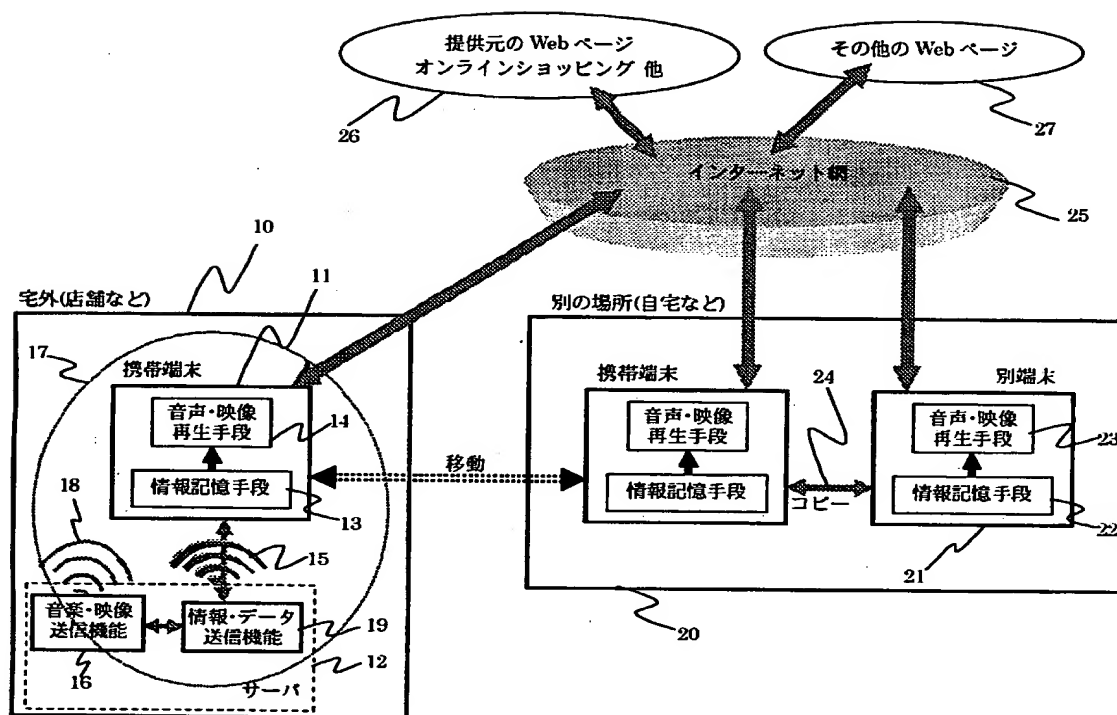
本発明に係る情報収集システムにおける携帯端末の動作を示す図である。

【符号の説明】

- 1 0 限られた空間内
- 1 1 携帯端末
- 1 2 サーバ
- 1 3 情報記憶手段
- 1 4 音声・映像再生手段

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】

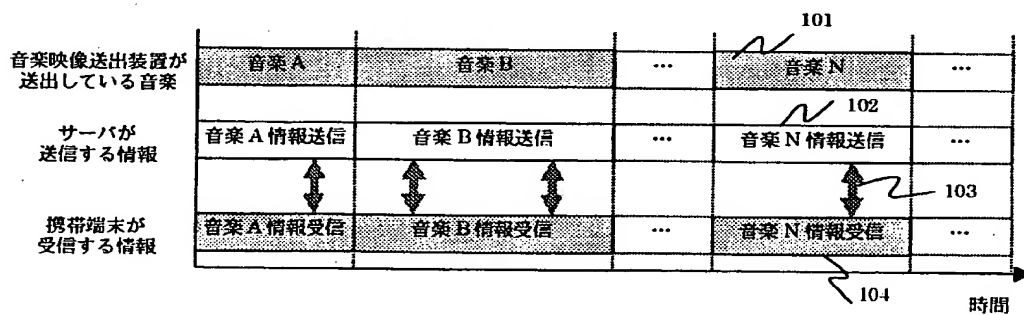
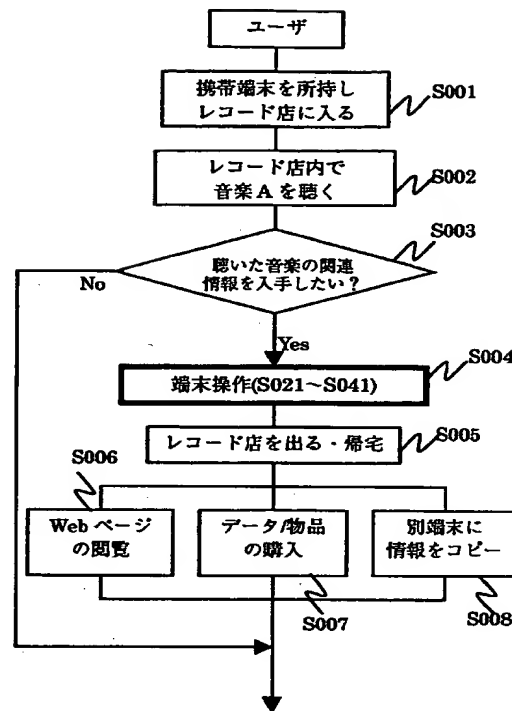


図 2

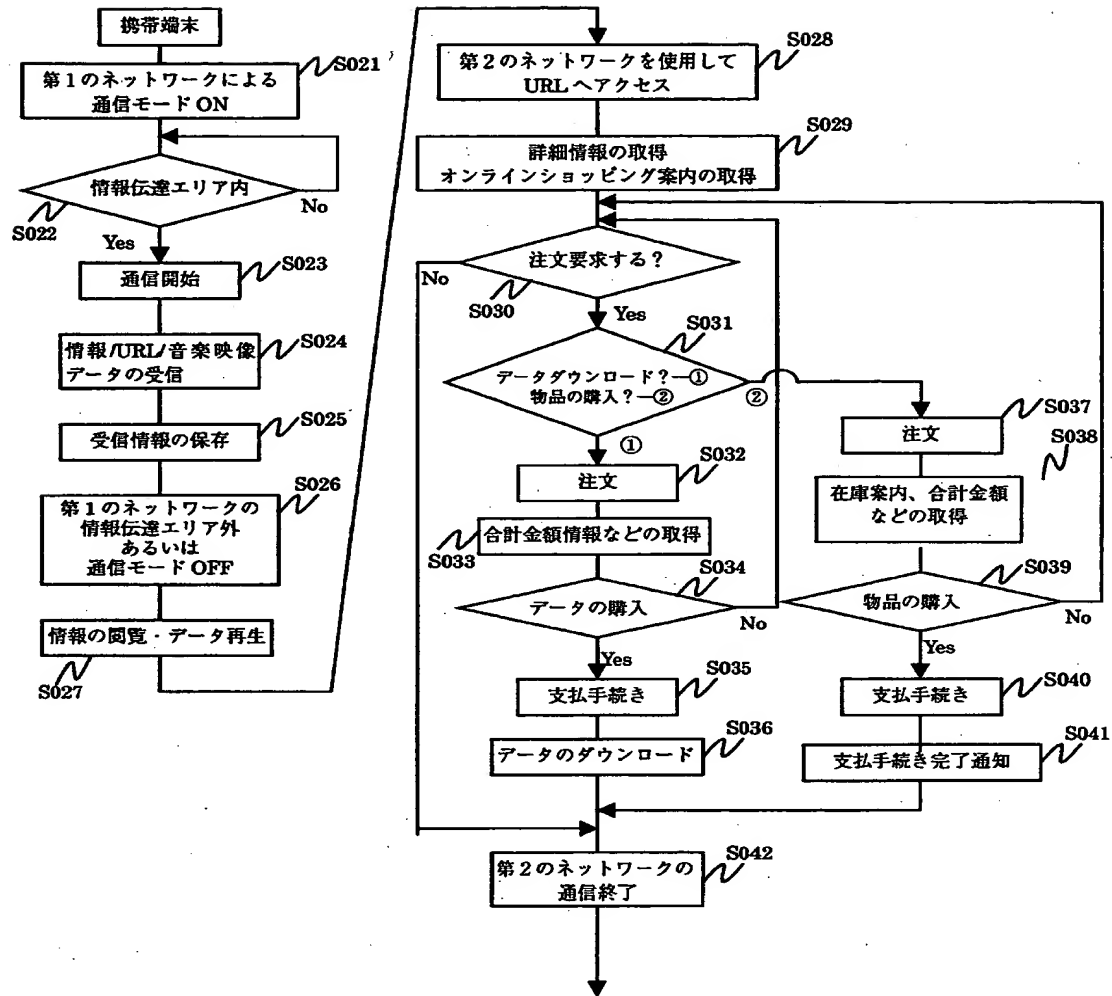
⇔ サーバ-携帯端末の通信



【図 3】



【図 4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 店舗などの限られた空間内で流されている視聴覚情報に関連する関連情報を簡単に入手することができる。

【解決手段】 限られた空間内で視聴覚情報を送出するサーバと、前記サーバの通信域内で通信が可能な携帯端末とを有する情報収集システムであって、前記限られた空間内に前記携帯端末があるときに、前記サーバは、前記携帯端末の要求に応じて、前記視聴覚情報に関連する関連情報を前記携帯端末に送信することを特徴とする情報収集システム。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004329]

1. 変更年月日 1990年 8月 8日

[変更理由] 新規登録

住 所 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地

氏 名 日本ビクター株式会社